

2019年度 第29回東アジア学会 九州国際大学大会  
「東アジアのボーダーを考える」

日時：2019年5月18日（土）10:00～18:00

会場：九州国際大学 平野キャンパス 3号館3階3306教室

受付 09:30～（3号館3階3306教室前）

自由論題 10:00～12:00（3号館3階3306教室）

「中国の対外直接投資」

報告者：王瑞芳（福岡大学 大学院商学研究科）

「中国・中央全面深化改革領導小組に関する研究」

報告者：渡辺直土（熊本大学 文学部）

「コーポレート・ガバナンス関連情報開示に関する研究

—日本と韓国のSNS企業におけるコーポレート・ガバナンス報告書を事例として—

報告者：梁晟宇（立命館アジア太平洋大学 国際経営学部）

昼食 12:00～12:45

※当日は学内の食堂が閉まっておりますので、近隣の食堂をご利用またはお弁当等をご持参ください。

理事会 12:00～12:45（3号館3階3301教室）

会員総会 12:45～13:45（3号館3階3306教室）

共通論題 13:55～18:00（3号館3階3306教室）「東アジアのボーダーを考える」

会長挨拶：小川雄平（九州情報大学 経営情報学部・西南学院大学名誉教授）

基調講演 14:00～14:55

「東アジア視点での交通とボーダーの相剋」

講演者：石井幸孝（九州旅客鉄道株式会社 初代表取締役社長）

個別報告（前半）14:55～15:35

「ボーダーと東北アジア地域経済協力」

報告者：小川雄平（九州情報大学 経営情報学部）

「日韓トンネルの必要性・可能性について」

報告者：野田順康（西南学院大学 法学部）

休憩 15:35～15:45

個別報告（後半）15:45～17:05

「対馬・釜山ボーダーツーリズムと境界地域社会の変容」

報告者：花松泰倫（九州国際大学 法学部）

「韓国から帰還したネパール人移住労働者の共生ネットワーク」

報告者：申明直（熊本学園大学 外国語学部）

「韓国のトランスジェンダー問題からみえてくる「男」と「女」の法的境界」

報告者：岡克彦（福岡女子大学 国際文理学部）

「ボーダーのクリエイティビティーチャン・リユル監督という生き様—」

報告者：西谷郁（西南学院大学 国際文化学部）

休憩 17:05～17:15

全体討論 17:15～18:00

懇親会のご案内

大会終了後に懇親会をおこないます。つきましては、予約の関係上、5月15日（水）までに懇親会の出欠を [ta-kimura@law.kiu.ac.jp](mailto:ta-kimura@law.kiu.ac.jp)（木村）までメールにてお知らせください。お手数おかけしますがご協力お願い申し上げます。

時間：18時半～（2時間程度）

場所：JR八幡駅付近のお店（お店につきましては当日ご案内いたします）

会費：1,000円（東アジア学会員の場合）

問い合わせ先（携帯）：090-7444-2094（木村） 090-1345-7202（山田）

